



興陽だより

令和4年度 第2号

令和4年 7月発行

群馬県立伊勢崎興陽高等学校

<https://koyo-hs.gsn.ed.jp>



昨年度は、「総合体育大会」という名称での球技大会と体育祭を合わせた形での開催となりましたが、今年度は、例年通り2日間に渡って「球技大会」として単独で開催をしました。天候が心配でしたが、無事に開催することができ、元気・笑顔いっぱいの大会となりました。

	ソフト ボール	フット ベース	バスケットボール		バレー		卓球		ソフト テニス	総合順位	
			男子	女子	男子	女子	男子	女子			
1位	3-3	2-1	3-5	1-4	3-2	3-5	1-4	2-5	2-3	2-3	
2位	3-2	2-4	2-4	1-1	3-4	2-5	2-2	2-3	2-1	2-1	
3位	3-1	1-2	2-1	1-3	2-2	3-1	2-4	3-4	2-4	3-2	2-5

Photo Gallery



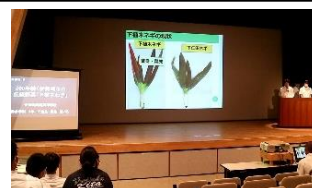
校内意見発表大会

6月7日に校内意見発表大会が行われました。各系列(2・3年生)の代表者1名と1年生の代表者2名の計8名が発表を行いました。発表は、日頃考えていることや思いが詰まっている内容で、それを聞く生徒たちも、自己の考えを再構築するとともに、様々な見識を広げることに繋がる良い機会となりました。

発表順位	代表学年 系列	クラス	題名・氏名	要旨
1	生	3-2	私たちにできることを全力で 竹内玲来	ニュースなどで頻繁に耳にするようになった自然災害。11年前の東日本大震災の復興について、私の高校での学びを活かして、3つのことを提言します。
2	1年	1-2	農業と美容 阿子島優翠	形、色、大きさ、傷が原因で野菜が破棄されてしまうなんてもったいない！ 将来、美容関係の仕事に就きたい私はあることを思いつきました。
3	1年	1-3	主食はお米 高橋茉友那	お米派かパン派か。和食派か洋食派か。私たちの食生活を見つめ直し、食料自給率・食品ロス・地産地消との関わりについて考えました。
4	命	3-5	6次産業化推進で地域を元気に、健康に！ 鹿沼 乃莉	現在私たちが実践している6次産業化活動は、地域の活性化と、そこに住んでいる方々の心身の健康増進に大きな可能性を持つことがわかりました。この経験を活かし、地域を元気にできる職業人を目指します。
5	食	3-2	感謝を言葉に 阿部ななみ	「いただきます。」と「ごちそうさまでした。」と言う意味は何か。食材への感謝の気持ちで、今日からできることをみんなで実行して食品ロスを軽減しよう！
6	経	3-1	地域の食文化や伝統文化の継承 菅井 杏夏	各地域にはその地域特有の食文化や伝統文化があります。その地域特有文化がもたらすもの、私たち若者がどのように継承していけばよいかを考えました。
7	花	2-5	花育で地域が輝く 宮城友彩	花は人の心を豊かにする力があります。花の魅力を知った私は、園児からお年寄りまで地域を巻き込んだ活動を展開して花の力で地域を輝かせます。
8	福	3-1	17歳で得たもの、失ったもの 菊澤一花	二〇二一年、私は数々の大きな物を失った。そこで得たものはとても大きくて、強い武器になると気づかされた。だから私は、それを活かした支援者になると決めました。

県各種発表大会

7月8日に県学校農業クラブ連盟各種発表大会が伊勢崎市境総合文化センターにて行われました。意見発表の部では、校内大会から選ばれた3名が出場し、プロジェクト発表の部では、いのちと緑を育む系列・食を科学する系列・花と緑で環境を創る系列の代表の生徒が、日頃の研究成果を発表しました。その中でも、意見発表の部に出場した3-5(いのち系列)鹿沼乃莉さんが最優秀賞を受賞し、関東大会に出場することになりました。出場した全ての生徒が精一杯発表をしてきました。



【プロジェクト発表の部】
いのちと緑を育む系列
『200年続く伊勢崎市の
伝統野菜「下植木ねぎ」』

【意見発表】

鹿沼 乃莉

『6次産業化推進で地域を
元気に、健康に！』

最優秀賞

